

きずな

NO. 171 2016- 4

こんにちは **日本共産党** 中村れい子

市政報告です



発行：日本共産党高槻市議会議員団 市議会議員・中村れい子 事務所／☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅／古首部町2丁目15-8-606 ☎685-6636

都市農業の発展 市バス敬老パスの効果

中村れい子（市議）が3月議会で、行った一般質問「都市農業の発展について」と「高齢者の健康づくり、敬老パスの効果について」の要旨を掲載します。

都市農業振興基本計画の策定を

「都市農業振興基本法」が、昨年4月に衆参両院で全会一致で成立しました。基本法は「都市農業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進、都市農業の安定的な継続をはかる」とし、地方自治体が、農業者や市民の声を聞き、都市農業の振興に関する計画を定める努力をするとなつていきます。高槻市は基本計画を策定するの市住民の意見を聞くことはごく当たり前のこととす。市としてどうするのか。都市農業の保全と発展のために、苦労しながらもがんばってこられた農業者と、その営みを応援してきた都市答弁

減少する農地に歯止めをかけ、農地の保全を

1968年に市街地開発のため、農地の転用をはかる都市計画法が制定され、都市周辺の農地は「おおむね10年以内に優先的かつ、計画的に市街化を図る区域」と「市街化を抑制すべき区域」に分けられました。1991年には、生産緑地法を変え市街化区域の農地を「開発を優先される場所」から「農業をする場

平均的な小学校9校分に相当します。農地の減少に歯止めをかけることは大事な取り組みです。市答弁
生産緑地の新規指定の申請はありません。下限面積を300㎡にすることは大阪府から国に要望している。

農業委員会の役割が 大きく後退

農業委員会法が変えられ、農地の番人と言われた農業委員会の役割が、大きく変えられました。農業委員の公選制を廃止して市町村長の任命制に変更し、農業委員の要件から「区域内に住所を有する」「耕作の業務を営む」との規定をはずします。「別の地域で経営する法人や企業が、事業拡大の意図を持って農業委員になる可能性も充分あります。農地を守るためには、農業委員会だけでなく、行政としての取り組みが必要です。

他市の敬老パス有料化の影響

この間、追加指定、新規指定で申請が何件あったのですか。生産緑地指定の下限は500㎡です。それを引き下げて300㎡にすることで、市街地の農地が新たに指定でき農地の保全につながります。調整区域の農地はこの5年間で6・3ヘクタール、市街化区域の農地は12・3ヘクタール、全体で18・6ヘクタールの減少。これは大阪市の、敬老パスは、高齢者の社会参加を促進し、介護予防や地域の活性化、コミュニティの形成に役立ってきました。しかし、有料化で、敬老パスの交付件数は、約4万6千人も減少し、高齢者に占める交付率は50%です。名古屋市では、敬老パスの有料化で利用が61%まで、減少しました。利用率は、回復するどころか、下がり続けています。

敬老パスのアンケート調査

「高齢者無料乗車証制度」の調査を昨年10月に実施し、2月に速報値が出されました。敬老パスを持つている方が94%で、利用している方は84.2%、経済的軽減に役立つているが65.9%でした。年間収入は100万円以下の方が31.5%です。敬老パスは、生活を支える、大事な制度になっています。

健康寿命

「大阪府が2010年の厚生労働省が示している、要介護などを元に算出した健康寿命は、高槻市は男性で79.13年、女性が83.82年。大阪府の平均で男性77.43年、女性82.26年」と、高槻市は長くなっています。敬老パスが介護認定の少ないことや、健康寿命の長さに影響しています。

高槻市の介護認定率 昨年9月末で15.9%、大阪府下平均は21%で、5.1%高槻市の介護認定者は少なく、市の介護保険への負担金だけでも約2億円の軽減、介護

負担減、外出先での買い物は、商業の活性化にもつながります。社会全体の利益につながっています。調査結果から見えてくるもの、今後どのような集計、分析をされるのか、お答えください。

高齢者の健康づくり

世界保健機関は、健康づくりについて人々が健康を管理しより健康に過ごせる可能性を模索する方法であると、健康を個人の問題だけでなく「社会的決定要因」を重視し、健康をむしろ背景にある貧困、格差、労働環境の改善などにむけ、各国政府が責任を果たすことを求めています。

高槻市では国の補助制度を受けて、2014年度まで65才以上のすべての方に「暮らしの元気度チェックリスト」を送っていました。しかし、国は2015年度から廃止しました。チェックリストは、2次予防への参加率が低かったため縮小したということですが、昨年度は、約4万人に発送し、75%から送り返され、生活機能の低下が見られる方は



市議員 中村れい子

高槻に市バスがある理由

なぜ、高槻市に市営バスがあるのか、そこには市民福祉の向上と高槻の発展を願った、先人の夢と希望がありました。当時の坂上市長の、市バスを動く市道として市民の役に立たせたいという思いが、今の高槻市民の公共交通として大きな役割を果たしています。

1972年3月議会に、市バスの再建策と運賃値上げを提案しましたが市議会は否決。それを受け当時の吉田市長は議案を撤回し、市民の理解を得るために10回にわたって住民説明会を開催。市民とともに方向性を出しました。今の料金体系にし、市バスを支援するために敬老パスの制度ができました。



7111人でした。介護予防教室につながった方は764人、1割強の方が介護予防につながったのは大きな効果だと思えます。多くの方にとって自分の生活を見直すきっかけになったのではないですか。全員でなくとも、75才の方に郵送するとか、老人センターや公民館など高齢者の方が利用される場所に、置くことも考えられるのではないですか。

市の答弁

健康パスポートに印刷し、チェックできるようにする。

市議員 中村れい子

市政相談日は 毎月、第2土曜日です

事前に必ず連絡をください



場所：中村れい子事務所 別所中の町3-7 時間：朝10時～昼12時まで TEL 681-8480/自宅 TEL 685-6686